

取扱説明書

屋外用蛍光灯ガーデンライト / ポール
(防雨型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	適合ランプ
AF-2029	蛍光灯FLR40 (S) WX1灯
AF-2030	蛍光灯FLR40 (S) WX1灯+FLR20 (S) WX2灯

この取扱説明書のマークについて

- △警告 説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険を示します。
 △注意 説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険を示します。
 ❶ このマークのついている説明文は必ず守ってください。
 ❷ このマークのついている説明文は行なってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

警告

- ❶ 一般屋外用照明器具（防雨型）です。
振動や衝撃の多い場所、浴室など湿気の多い場所、腐食ガスの発生する場所、サウナなど高温になる場所、海岸隣接地帯（塩害地域）、風速40m/sを超える場所、砂地などの地盤の弱い場所では使用しないでください。
★いずれの場合も転倒や落下、器具破損やそれに伴う「けが」、漏電・感電事故の原因となります。
- ❷ 設置の際は垂直以外の設置はしないでください。
★転倒や落下、器具破損やそれに伴う「けが」、漏電・感電事故の原因となります。
- ❸ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると防水性が損なわれ感電や漏電事故の原因となります。
また異常加熱による火災や器具破損、器具落下による「けが」の原因となります。
- ❹ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
- ❺ ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。
- ❻ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

注意

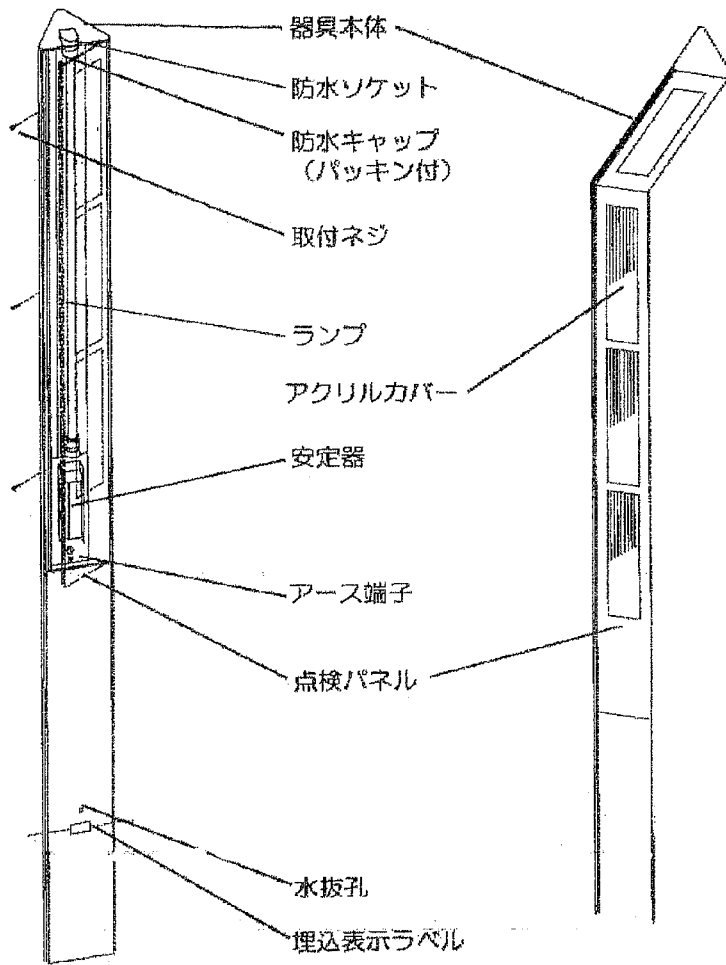
- ❶ 必ず適合ランプを使用してください。
★不適合なランプを使用すると不点灯や器具の故障の原因となります。
- ❷ ポールにはしごをかけての施工や、バケット車の使用できないような狭い場所では使用しないでください。
★ポールキズ付き、傾き、施工中によるケガの原因となります。
バケット車での施工、メンテナンスをお勧めします。
- ❸ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。
- ❹ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- ❺ 使用地域の電源周波数（50Hzまたは60Hz）にあった器具を使用してください。
★間違っていると、火災の原因となることがあります。
- ❻ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器・照明器具の故障の原因となります。



各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
 (不足している部品があった場合には、お買い上げ店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



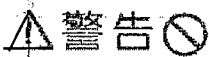
AF-2029

AF-2030

【付属品】

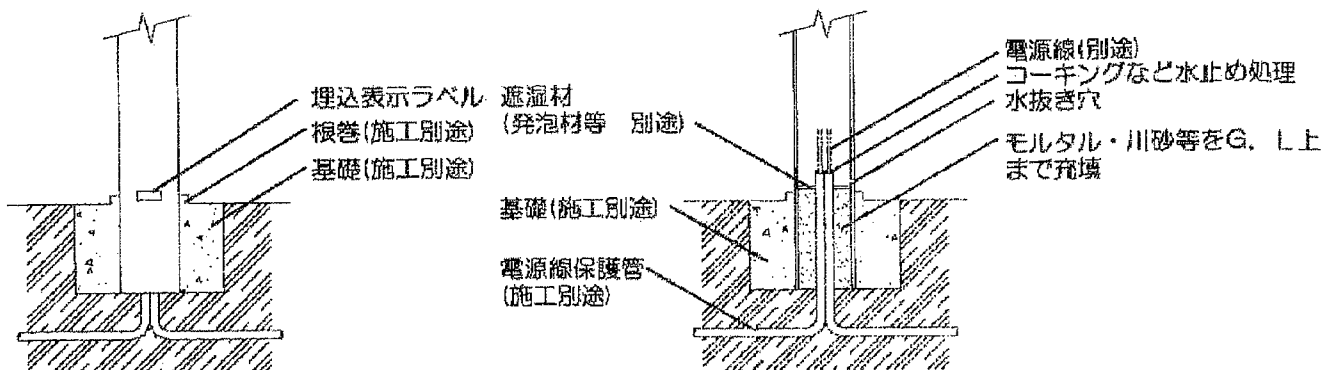
- ランプ
 AF-2029 : FLR40W...1本
 AF-2030 : FLR40W...1本
 FLR20W...2本
- 取扱説明書 (本書) ...1枚
- 保証とアフターサービス ...1枚

取り付け場所の確認



一般屋外用器具 (防雨型) です。振動や衝撃の多い場所、浴室など湿気の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接地帯 (塩害地域)、風速40m/sを超える場所、砂地などの地盤の弱い場所では使用しないでください。
 ★いずれの場合も転倒や落下、漏電・感電事故の原因となります。

- ❗ ポール本体及び基礎。アンカーボルトは事前に取り付ける灯具を確認の上、十分な強度を有するものをご用意ください。
 ★強度が不十分な場合はポール折れや転倒の原因となります。
- ❗ ポール下部に川砂等を充填し、湿気がポール内に充満しないように施工して下さい。(下図にその一例を示します。)
 ★絶縁不良による漏電、感電事故の原因また、腐食によるポール折れの原因となります。
- ❗ 必ずコンクリート等でポールの埋め込み部を補強して下さい。ポール地際部は防錆の為、必ずコンクリート根巻して下さい。その時、埋め込み表示ラベル上にある空気穴は塞がないでください。
 ★腐食によるポール折れの原因となります。



取り付け方

△注意 ① 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。

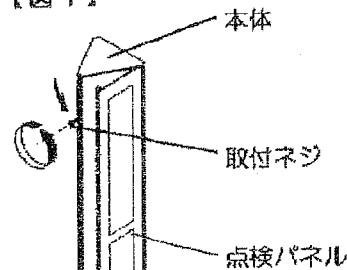
★取り付けに不備があると、器具の落下や火災、感電事故の原因となります。

警告

1. 点検パネルをはずします。(図1)

取付ネジを緩めて、点検パネルをはずします。

【図1】



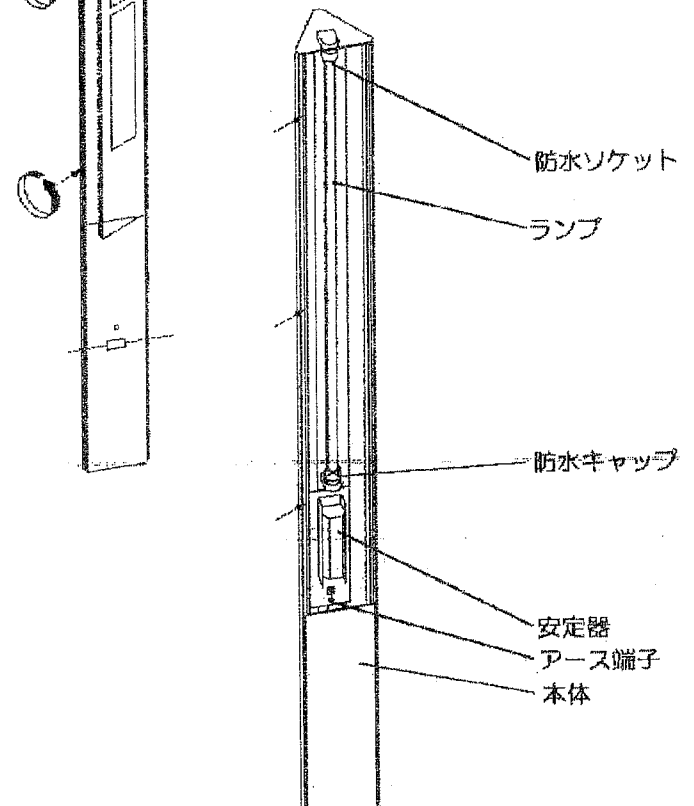
2. 電源線を接続します。(図4)

安定器取付板に固定してある安定器の口出線と電源線を結線します。

自己融着テープを巻付けた上、絶縁テープを巻いてください。最後にコード押え金具で固定します。

① ★不完全な場合、感電・漏電事故の原因になります。

【図2】



3. アース線を結線します。(図5)

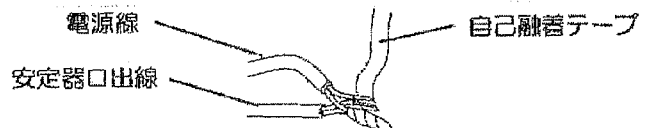
安定器取付板についているアース端子にアース線を結線します。D種接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。

① ★アース工事が不完全な場合、感電事故の恐れがあります。

4. ソケットにランプをセットします。

※ 【ランプの交換】 の頁を参照してください。

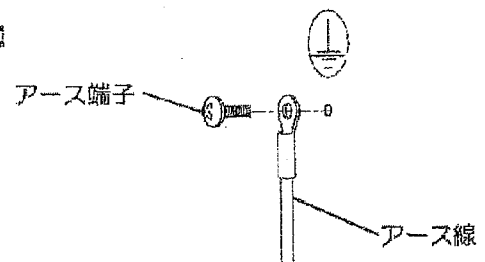
【図4】



5. 点検パネルを取り付けます。(図1)

取付ネジを確実に締めます。

【図5】



スイッチ操作

スイッチにてON-OFF操作を行ないます。

お手入れについて **△注意** 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

◆お客様へのお願い

- 灯具やポールには寿命があります。使用条件、使用環境によって異なりますが、一般に寿命の目安は10年です。3~5年に1回は点検をし、不具合がありましたら工事店等の専門家に相談し、適切な処置または交換を行ってください。
- ★ 放置すると、落下やポール折れの原因となります。

△注意

- ランプの交換やお手入れをするときは、必ずカットアウトスイッチを切ってから取りかかってください。
- ★ 感電事故の原因となります。

- スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
- ★ 火傷の原因となります。

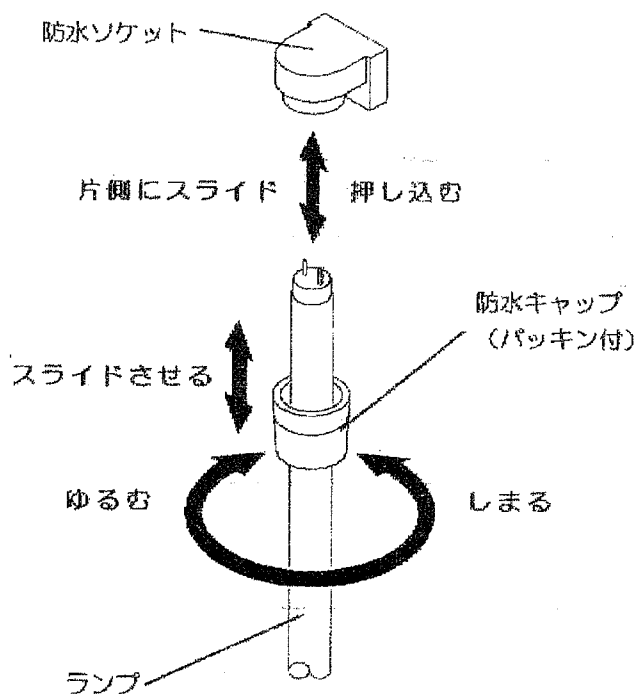
- 濡れた手で触らないでください。★ 感電事故の原因となります。



- ランプは乱暴に扱わないでください。
- ★ ランプが割れてけがをする恐れがあります。
- ランプは器具、安定器との適合とランプの使用制限を確認の上使用してください。
- ★ ランプの破裂、発火の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
- ★ 器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

1. スイッチを切ります。
 2. 取付ネジを締め点検パネルをはずします。
【取り付け方】[図1]をご参照ください。
 3. 古いランプをはずします。
まずソケットについている両側の防水キャップを回してはずします。
次にランプを片側にスライドさせて外します。
 4. 新しいランプをセットします。
防水キャップをランプの両端に取り付けておきます。
ランプ口金をソケットの挿入溝に合わせます。
ランプをソケットに押し込みながらセットします。
- ランプはガラス製品です。無理な力を加えないでください。
 - ★ ランプが割れる恐れがあります。
 - ランプは器具・安定器との適合を確認の上、使用してください。
 - ★ ランプの破裂、発火の原因となります。
5. 点検パネルを取付けます。
取付ネジを確実に固定します。



◆お手入れのしかた

1. 電源を切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。